

令和7年度 第1回 福岡PPPプラットフォームセミナー

福岡市PPPロングリスト・ショートリスト 事業紹介

2025.7.28

福岡市財政局アセットマネジメント推進部大規模施設調整課

目次

1. 福岡PPPプラットフォームについて

2. PPPロングリスト・ショートリストについて

1. 福岡PPPプラットフォームについて

1 福岡PPPプラットフォーム

目的

地場企業のPPPに関するノウハウ習得と

事業参画に向けた競争力強化を図る

取組

- ・他都市の事例研究などを通じた企画提案力や事業遂行力の向上
- ・異業種間のネットワークの形成
- ・個別事業に関する情報提供と意見交換

などをテーマとしたセミナー等を開催

対象

福岡市内に本店を置く企業



1 福岡PPPプラットフォーム

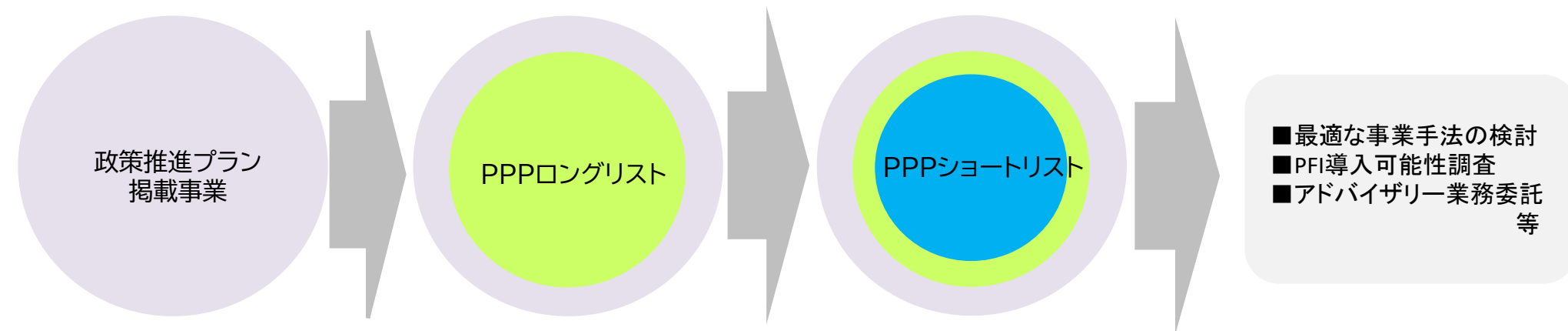
実績

	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回
平成23年度	79団体/115名	77団体/103名	66団体/96名	72団体/102名	69団体/91名
平成24年度	69団体/99名	74団体/106名	71団体/106名	66団体/93名	—
平成25年度	62団体/96名	47団体/71名	53団体/70名	—	—
平成26年度	43団体/65名	46団体/65名	42団体/54名	53団体/74名	—
平成27年度	51団体/70名	52団体/74名	43団体/57名	—	—
平成28年度	62団体/80名	47団体/62名	46団体/62名	49団体/65名	—
平成29年度	56団体/72名	39団体/51名	14団体/20名	46団体/62名	—
平成30年度	45団体/52名	50団体/73名	37団体/52名	—	—
令和元年度	40団体/58名	25団体/42名	27団体/41名	—	—
令和 2 年度	24団体/51名	28団体/51名	24団体/ 33名	—	これまで48回開催 のべ2,061団体/ 2,955名 参加
令和 3 年度	28団体/38名	28団体/41名	26団体/35名	—	
令和 4 年度	27団体/53名	25団体/43名	13団体/22名	—	
令和 5 年度	20団体/38名	22団体/31名	13団体/18名	—	
令和 6 年度	21団体/29名	28団体/43名	16団体/30名	—	

2. PPPロングリスト・ショートリストについて

2 PPPロングリスト、ショートリストについて

最適な事業手法を検討すべき事業の抽出や民間事業者への事業情報の提供を目的として、「PPPロングリスト」「PPPショートリスト」を作成し、毎年度当初に公表しています。



PPPロングリスト

将来的にPPPを含めた事業手法検討の可能性のある施設整備事業のリスト

PPPショートリスト

事業の具体的な検討が始まり、事業手法に関する調査等の予算が措置された事業のリスト

2 PPPロングリスト, ショートリストについて

福岡市役所HP > 市政全般 > 主なプロジェクト > PPP/PFI:官民協働による公共施設の整備

The screenshot shows the Fukuoka City website's main navigation bar with links for Home, Mobile Site, and various services. Below the navigation bar, there's a search bar and a menu with categories like Living/Handbook, Child Education, Health/Medical/Welfare, Tourism/Attraction/Event, Industry/Business, and Municipal General. The main content area is titled "PPP/PFI : 官民協働による公共施設の整備" (PPP/PFI: Public Facility Improvement through Public-Private Cooperation). It includes a paragraph about the city's efforts to improve public facilities and a list of four items:

- PPP/PFI事業**: 現在進行中の事業や今後取り組む予定の事業
- 福岡PPPプラットフォーム**: 官民協働事業に関するノウハウ習得や、地場企業と市の意見交換の「場」
- 民間提案等制度**: 事業の初期段階から、民間事業者の創意工夫やノウハウ、アイデアを募集
- 福岡市の方針・ガイドライン等**: 官民協働事業に取り組むにあつての本市の基本的な考えや手続等

A red arrow points to the "福岡市の方針・ガイドライン等" item, with the word "クリック" (Click) written next to it.



上記QRコード
からもアクセス

福岡市HP:URL

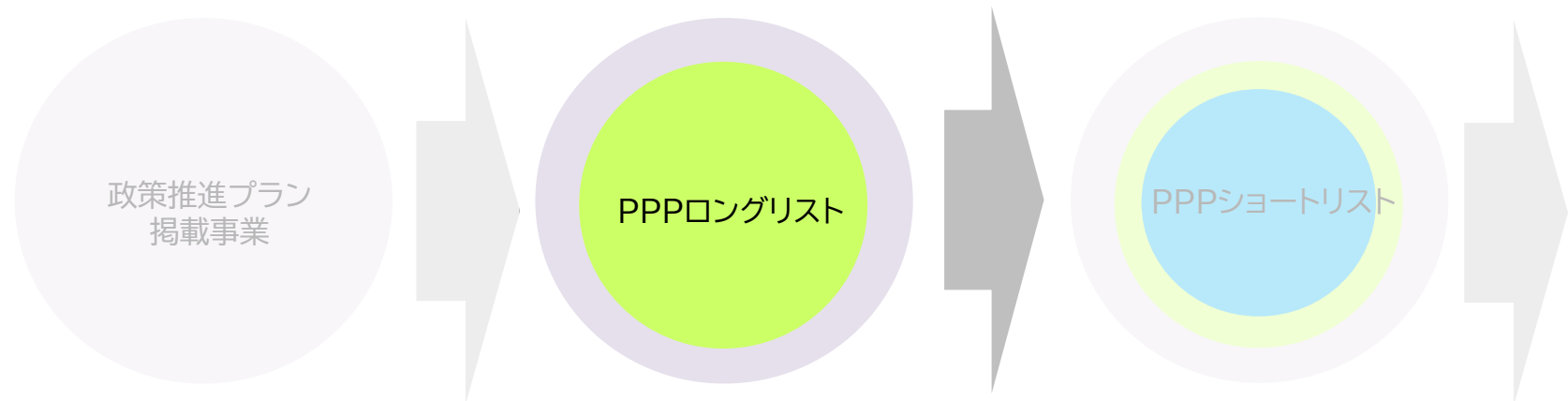
https://www.city.fukuoka.lg.jp/zaisei/jigyo-suishin/ppp_pfi/keynote_for_PPP_H2604.html

The screenshot shows the Fukuoka City website's main navigation bar with links for Home, Mobile Site, and various services. Below the navigation bar, there's a search bar and a menu with categories like Living/Handbook, Child Education, Health/Medical/Welfare, Tourism/Attraction/Event, Industry/Business, and Municipal General. The main content area is titled "福岡市の方針・ガイドライン等" (Fukuoka City Policy/Guidelines, etc.). It includes a paragraph about the city's efforts to improve public facilities and a list of four items:

- (1) 官民協働事業 (PPP) への取組方針**: 福岡市がPPPに取り組むにあつての、対象事業や事業手法の選定基準、全庁的な事業推進体制、地場企業の参画促進に向けた考えなど福岡市の基本的な考え方を定めた「官民協働事業 (PPP) への取組方針」(以下「取組方針」)を策定し、平成24年4月より施行しています。
- (2) PFIガイドブック**: 「PFIガイドブック」とは、「福岡市PFIガイドライン」(第1版策定:平成13年7月,第2版改訂:平成16年3月)について、「官民協働事業 (PPP) への取組方針」との関係を整理するとともに、職員及び民間事業者の実務者向けガイドとして、PFIの基礎事項及び実際の手続きにかかる事項に内容を絞って再構成したものです。
- (3) PPP/PFI 民間提案等ガイドブック**: 「民間事業者からのPFI法第6条に基づく「民間提案」及び同法に基づかない任意の「民間提案」を積極的に受け入れるため、福岡市の対応方針(受付体制や対応方針、手続等)を定めた「PPP/PFI 民間提案等ガイドブック」を新たに策定し、平成26年度より運用を開始しました。
- (4) PPPロングリスト・PPPショートリスト**: 福岡市では、今後、PFIを始めとしたPPPによる事業化の可能性がある事業を「PPPロングリスト」に、PPPによる事業化の可能性がある事業の内、事業手法検討業務委託や、事業化手続業務委託を行うための予算が確定した事業を「PPPショートリスト」に掲載しています。

A red box highlights the "PPPロングリスト" and "PPPショートリスト" items, with a red arrow pointing to them.

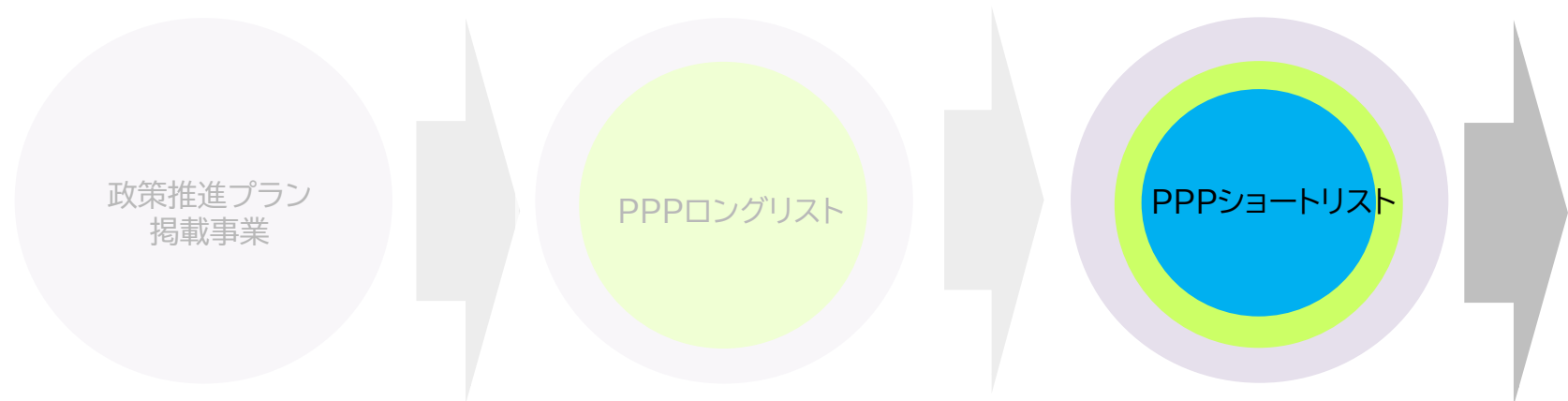
PPPロングリスト



PPPロングリスト対象事業一覧

	事業名称等	所管局	事業概要
1	市営住宅の建替	住宅都市局	老朽化した市営住宅を計画的に建替えることにより、将来にわたって、安定的な供給を行う。
2	学校の校舎等の改善・建替	教育委員会	老朽化が進む学校施設において計画的に改修・建替を行う。 (校舎、講堂兼体育館、プール等)
3	下水道事業	道路下水道局	改築更新・浸水対策・地震対策 など
4	水道事業	水道局	水源、浄水場整備事業・浄水場再編事業 など
5	公園等の有効活用	住宅都市局	広域から多くの利用者が集う公園等において、新規公園の整備や既存公園の再整備等に合わせ、Park-PFI制度等の民間活力を導入し、公園の魅力向上と公園利用者の利便性向上を図る。
6	セントラルパーク構想の推進	住宅都市局	都心に近い貴重な緑地空間として広く市民に親しまれている大濠公園と舞鶴公園の一体的な活用を図り、市民の憩いの場として、また、歴史、芸術文化、観光の発信拠点となるような公園づくりを目指す。
7	アイランドシティグリーンベルトの民間活用	港湾空港局	アイランドシティ中央公園とはばたき公園をつなぐグリーンベルト(緑地帯)のうち、はばたき公園側の区画の中に民間活用できる「活用エリア」を設け、都市公園と相乗効果が期待できる機能を誘導することで、グリーンベルトの魅力向上を図る。

PPPショートリスト



PPPショートリスト対象事業一覧

	事業名	令和6年度までの進捗状況／ 令和7年度の取組(予定)	個別 事業 紹介
1	九州大学箱崎キャンパス跡地 水素ステーション整備等 (経済観光文化局水素推進担当)	令和6年度は、水素ステーションに必要な機能や水素調達手段、事業手法等の検討を行った。 令和7年度は、水素ステーション等の事業者選定公募を行う予定である。	○
2	港湾緑地「みなと100年公園」 リニューアル・管理運営事業 (港湾空港局財産活用担当)	令和6年度に引き続き、令和7年度も、「みなと緑地PPP」の活用を前提とした事業実施条件の検討等、今後の公募実施を見据えた準備を進めていく。	—
3	アイランドシティはばたき公園 ガイダンスセンター等整備事業 (港湾空港局計画調整課)	令和6年度に引き続き、令和7年度も、ガイダンスセンターの整備に向けて、整備内容や事業手法の検討を行う。	○
4	南地域交流センター（仮称）整備 (市民局政策調整担当)	令和6年度は、導入機能の基本的な考え方、整備候補地の選定など、基本構想策定にかかる検討を行った。 令和7年度は、基本構想の策定、基本計画および事業手法の検討を行う。	○
5	ウォーターフロント地区再整備 (住宅都市みどり局ウォーターフロントまちづくり推進課、 経済観光文化局MICE施設整備担当、 港湾空港局事業推進課)	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、検討エリアを見直しを行った。 令和7年度は、事業化に向けて検討を行う。	—

九州大学箱崎キャンパス跡地 水素ステーション整備等



水素ステーション整備等の背景

【福岡市水素リーダー都市プロジェクト】

福岡市では、水素社会の実現に向けて、
「福岡市水素リーダー都市プロジェクト」を推進している。

【既存の取組み】

- ・ 下水バイオガス由来の水素ステーションの官民連携手法での運営
- ・ 給食配送車、ごみ収集車等へのFC（燃料電池）モビリティの導入促進 等



【九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり】

九州大学箱崎キャンパス跡地については、土地所有者である九州大学とUR都市機構による土地利用事業者公募が実施され、令和6年4月に優先交渉権者が決定した。

【まちづくりの役割分担】

- | | | |
|---------------------------------|---|---------|
| ・ まちづくりの公募範囲（左図約50haのうち約28.5ha） | … | 土地利用事業者 |
| ・ 都市計画道路や中学校等の公共施設 | … | 福岡市 |
| ・ 水素ステーション等 | … | 福岡市 |

水素ステーション基本計画について

- 九州大学箱崎キャンパス跡地において、水素社会の実現に向けたモデルとなるよう、水素利活用の検討を進めている。

【具体的な取組】

- FCVへの水素充填や街区への水素供給を行う「水素ステーション」の整備
- 「水素供給パイプライン」を整備するとともに、公共・民間施設において「純水素燃料電池」を導入し、水素利活用の機会を創出
- FCVカーシェアの導入等について検討



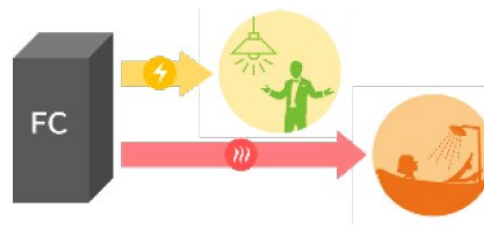
水素ステーション（イメージ）

FCV へ水素を充填



FCV:燃料電池自動車

パイプラインを用いて
純水素燃料電池へ
水素を供給



水素ステーション基本計画について

【水素実装の進捗状況】

- 水素ステーションについては、昨年度、民間活力の導入に向けて事業手法等を検討
- 純水素燃料電池の導入にあたって、まちづくりの優先交渉権者や各施設の部署と協議
- 水素供給パイプラインについては、都市計画道路区間の整備が完了し、純水素燃料電池の設置位置を踏まえ整備



※ 詳細な設置位置等は検討中。

1 水素ステーションの整備計画

(1) 水素需要量 約170kg/日 (令和12年度時点の想定値)

【内訳】

○FCVへの充填 : 約90 kg

○純水素燃料電池への供給 : 約80 kg (公共施設約20 kg/日、民間施設約60 kg/日)

(2) 供給水素

福岡市水素ステーションで製造する下水バイオガス由来の水素を基本とする。

ただし、事業費の範囲内で、CO2の排出が少ない、その他の水素の利用も検討。

1 水素ステーションの整備計画

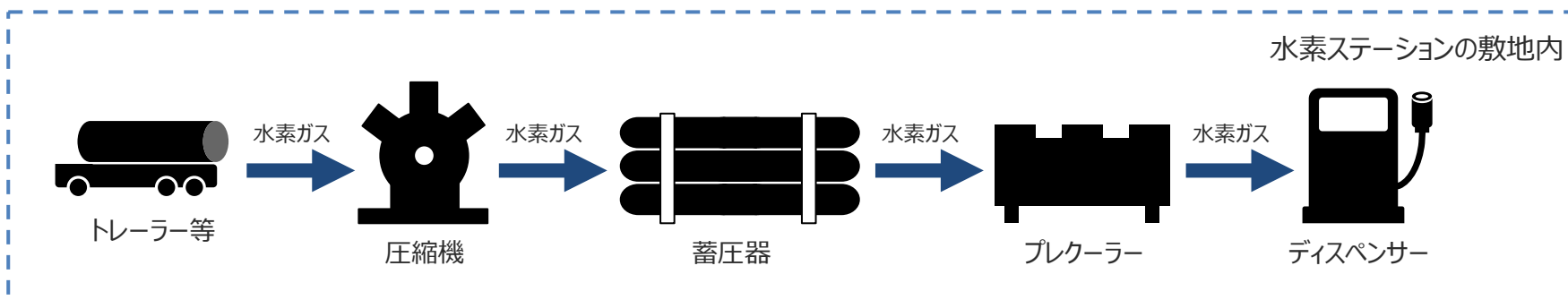
(3) 設備等計画

○ FCVへの充填に関する主な設備

設備名	役割
圧縮機	水素を所定の圧力まで昇圧する
蓄圧器	昇圧した水素を一時的に貯蔵する
プレクーラー	FCVのタンクの温度上昇を防ぐため、FCVへの充填前に水素を冷却する
ディスペンサー	FCVに高圧の水素を充填する

○ その他、管理運営に必要な事務所等

水素ステーション設備のイメージ図



1 水素ステーションの整備計画

○ 純水素燃料電池への供給に関する主な設備※

設備名	役割
整圧器	水素を所定の圧力に調整する
付臭装置	水素に臭いを付着させる
流量計	水素の供給量を確認する

※本設備は、別途、水素供給パイプラインとあわせて整備予定

(4) 土地面積 約2,100㎡

(5) その他

跡地のまちづくりの計画と合わせて、一体的なゆとりある歩行空間を形成するため、敷地内に歩道と連続したセットバック空間を確保。

2 水素ステーションの事業手法

(1) 事業手法の検討

- 水素ステーションは、分離分割発注方式、PPPの活用などを検討
- 維持管理・運営の業務について、事業費削減等の観点から、水素ステーション以外の維持管理・運営業務との一体的な実施を検討したが、それぞれノウハウが異なることから、**一体化せずに各業務を個別に実施**

(2) 事業期間

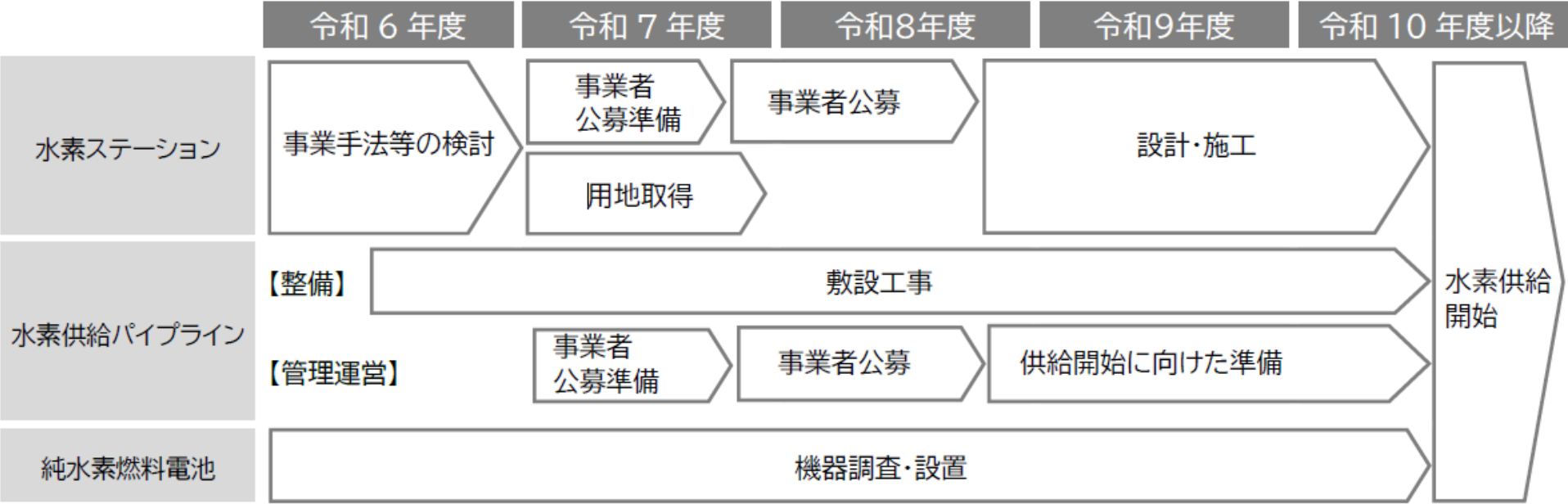
維持管理・運営の事業期間は水素ステーションの耐用年数等を勘案し、**10年間**

(3) 事業手法の検討結果

水素ステーションの事業手法は、各手法における民間ノウハウの活用および事業費の試算を踏まえて検討を実施し、**DBO方式**で進めていく。

3 事業スケジュール（案）

跡地のまちづくりの進捗も踏まえながら、令和10年度以降の供給開始を目指す



アイランドシティ はばたき公園 ガイダンスセンター等整備事業



アイランドシティはばたき公園について

アイランドシティの「**はばたき公園**」は、人と自然との共生を象徴する空間の形成を目指しており、**環境学習拠点施設（ガイダンスセンター）**や**遊具等**において、官民連携事業による整備を検討しております。



出典：市作成

はばたき公園（港湾施設）

野鳥観察や環境学習ができる湿地や芝生広場、築山、遊具、駐車場等を備えた公園として整備中
（令和6年4月より湿地を含む一部エリアを供用開始）

面積 約12ha

アクセス

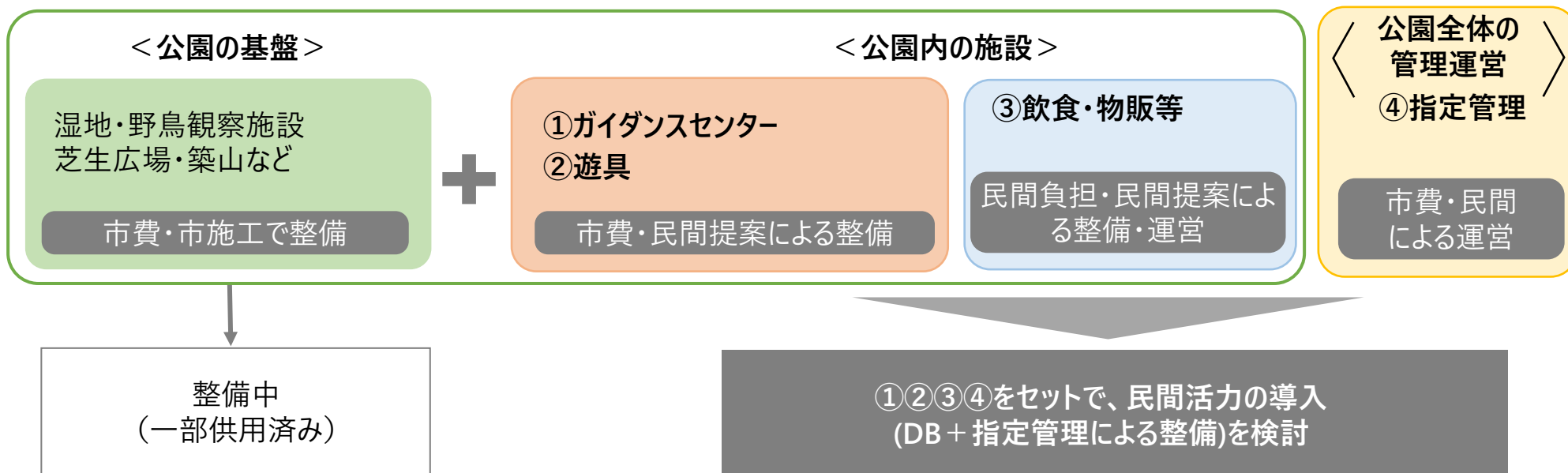
- | | | | |
|---------|-----|------|---------|
| ○福岡空港から | 車で | 約20分 | |
| ○天神から | バスで | 約20分 | 車で 約20分 |
| ○博多駅から | バスで | 約30分 | 車で 約20分 |

※本事業概要に示す施設計画、事業スキーム等は現時点の案であり、確定したものではありません。

民活導入イメージ

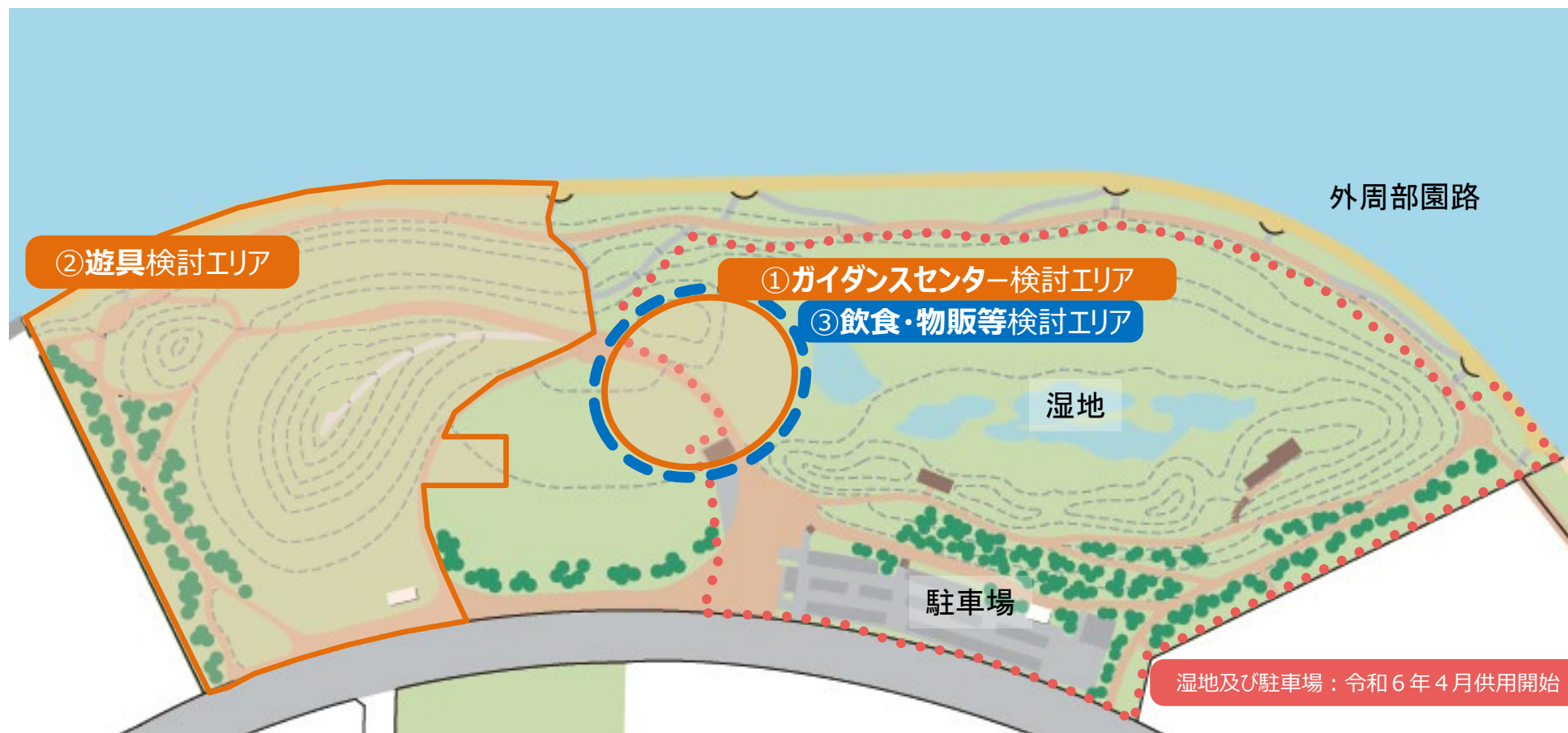
○環境や環境共生の取組みについて楽しみながら学びを深める施設とするため、**ガイダンスセンター等**の整備に民間のノウハウを活用する。

○学びの機能とあわせて公園の魅力を高めるため、**遊具や飲食機能**を確保する。



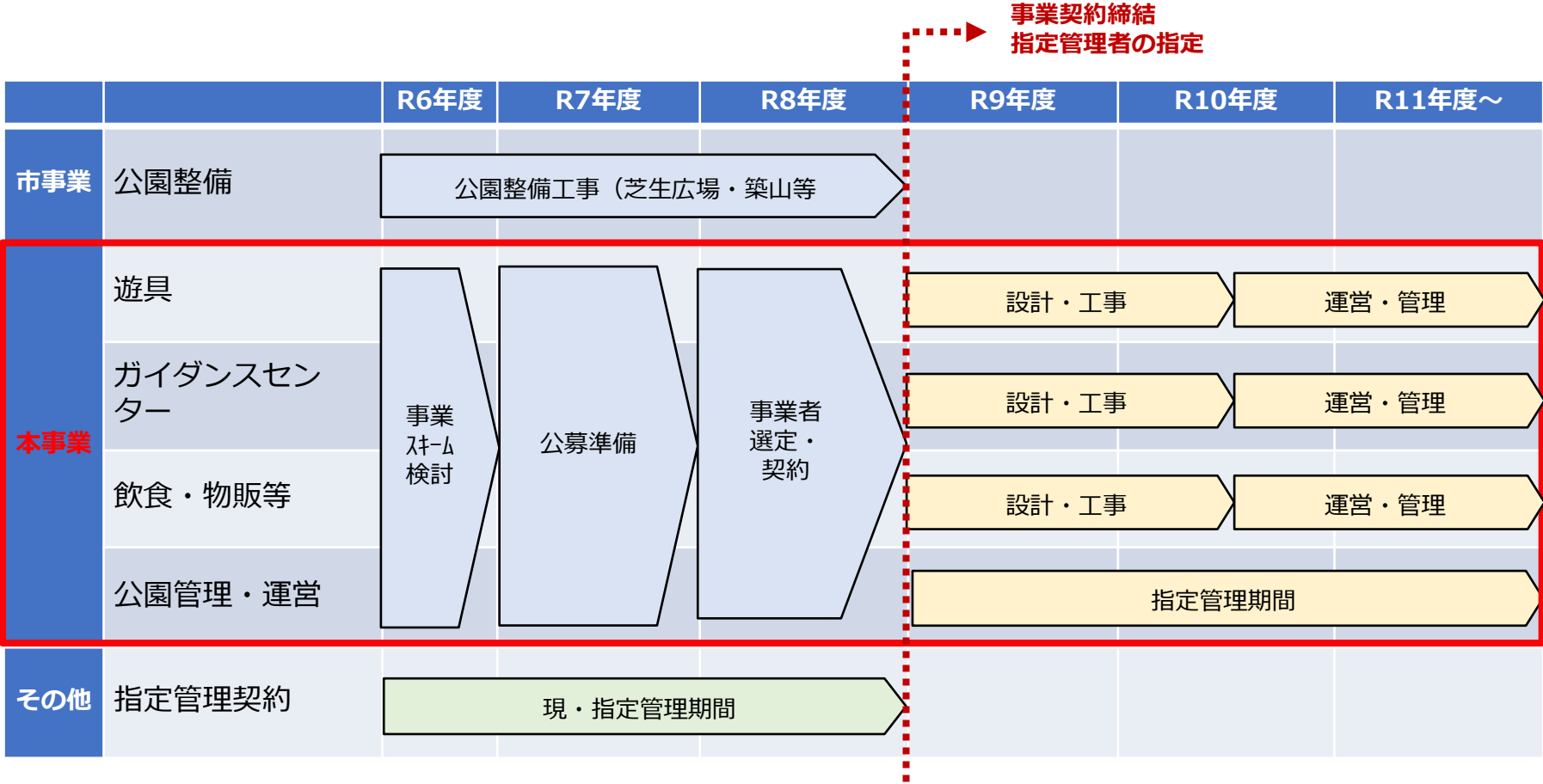
アイランドシティはばたき公園 ガイダンスセンター等整備事業

はばたき公園 全体図



アイランドシティはばたき公園 ガイダンスセンター等整備事業

スケジュール（案）



南地域交流センター(仮称)整備



既存地域交流センターの写真：福岡市早良南地域交流センター（令和3年11月開館）

1 南地域交流センター（仮称）の検討状況について

【目 的】

- 「ホール・会議室等」「体育館」「図書館」等の区単位の行政サービスを補完する施設として、南区西南部地域において地域交流センターの整備に向けた検討を行う。

【整備候補地の選定基準】

- 南区西南部地域において、以下の基準に基づき検討
 - ・ 1 ha程度の面積を確保できる整形な土地であること
 - ・ 東西方向の公共交通路線がある外環状道路に近接（300m）していること

【整備候補地の選定】

- 周辺道路の状況、南区西南部地域全体からの近接性や早期着手の可能性の観点から比較を行った結果、**若久池**を整備候補地として選定。

2 南地域交流センター（仮称）基本構想（案）について

（1）基本構想策定の目的

○整備予定地の概要、整備の基本的な考え方を示すもの。

（2）整備予定地の概要

○所在地 南区屋形原1丁目（若久池）

○面積 約2.0ha

○所有者 福岡市

○現況 北側は南区を東西に貫く外観状道路に隣接
東側は屋形原1738号線、南側は屋形原1757号線に接道
南区西南部地域の概ね中央部に位置
周辺に東花畑小学校や屋形原特別支援学校、福岡病院が立地

○用途地域等

- ・第二種居住地域（建ぺい率60%、容積率200%）、第二種20M高度地区
- ・第一種低層住居専用地域、戸建住環境形成地区（建ぺい率40%、容積率60%）

2 南地域交流センター（仮称）基本構想（案）について

○周辺図



2 南地域交流センター（仮称）基本構想（案）について

（3）基本的な考え方

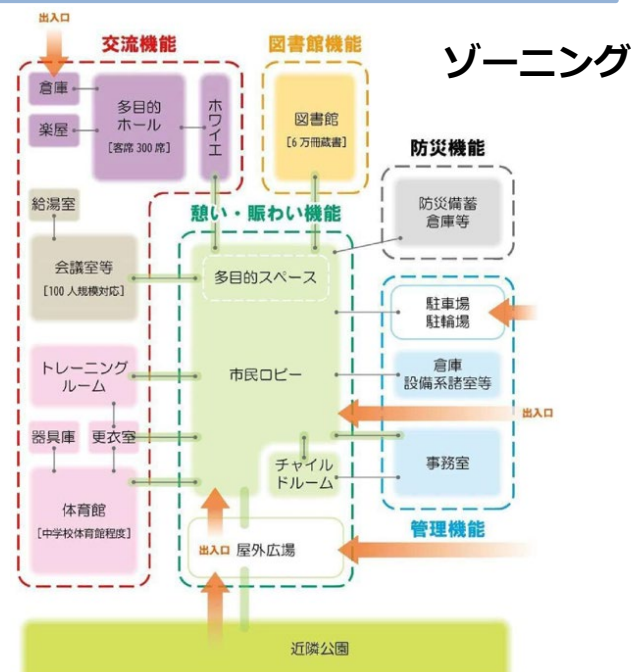
①基本理念

○文化やスポーツ等を楽しむ交流の場や自分らしい時間を過ごす憩いの場を提供し、人と人とのつながり、共創による地域コミュニティの活性化や地域の魅力向上につながる施設を目指す。

○地域に不足する近隣公園を一体的に整備することで、緑や花が持つ魅力により、憩いや安らぎが感じられる、様々な地域活動の拠点を目指す。

〈地域からの主な意見〉

- くつろぎ空間や自由に出入りできる交流の場
- 子どもの居場所になってほしい
- 各種団体活動の活性化や地域を超えての活動ができる施設
- 避難所としての活用を見据えた施設
- 行政手続きができるようにしてほしい
- 良好な交通アクセスや駐車台数の確保



2 南地域交流センター（仮称）基本構想（案）について

（3）基本的な考え方

②機能と整備の視点

機 能	整備の視点	整備する諸室等
『交流機能』 文化やスポーツ、様々なイベントを通じて多世代交流や多文化共生を促進	○多世代が交流する開かれた施設 ○様々な利用目的に対応する可変性ある施設	○多目的ホール ○会議室等 ○体育館
『図書館機能』 誰もが気軽に立ち寄り、学びを促進する	○本に楽しく触れることができる施設	○図書館分館
『憩い・賑わい機能』 憩いの場であるとともに、人と人、各空間とをつなぎ賑わいを創出する	○公園、屋外広場と一体になった緑や花に彩られた施設 ○あらゆる世代の方が自分らしい時間を過ごせる施設 ○多様な利用者をつなぎ新たな賑わいを生む施設	○市民ロビー ○多目的スペース ○チャイルドルーム ○屋外広場
『管理機能』	○施設スタッフが施設全体を管理しやすく効率的に運営できる施設	○事務室 ○共用部
『防災機能』	○災害時にも安心して過ごせる施設	○防災備蓄倉庫等

2 南地域交流センター（仮称）基本構想（案）について

諸室等	基本的な考え方	利用イメージ
多目的ホール	○日頃の成果を発表する場にふさわしい空間 ○客席は300席程度を確保 ○楽屋などのバックヤード機能の充実	○民舞、ダンス、音楽、演劇などの発表会 ○地域向け講演会
会議室等	○利用者の様々な「やりたい」を実現する空間 ○100人規模の広い会議室を分割利用 ○楽器、演劇、ダンス等の練習などにも対応できる適切な防音性能を確保	○会議、生涯学習等 ○健康体操や楽器練習 ○乳幼児健診会場
体育館	○スポーツ活動や健康づくりなどを気軽に楽しみ交流できる空間 ○中学校体育館程度の広さを確保	○練習や交流試合 ○トレーニング
図書館分館	○誰もがゆっくり読書を楽しめる空間 ○約6万冊程度の蔵書 ○一般書架の他、児童書架、閲覧コーナー、児童コーナーを設置	○読書、地域の歴史文化等の情報収集 ○読み聞かせの開催
市民ロビー	○開放的なエントランス空間 ○誰もが気軽にイベント参加できる賑わい空間 ○桧原桜エピソードなどの魅力発信、展示スペース	○待ち合せや休憩 ○ロビーコンサート ○アート鑑賞

2 南地域交流センター（仮称）基本構想（案）について

諸室等	基本的な考え方	利用イメージ
多目的スペース	○子どもから高齢者まで自分らしい時間を過ごすことができる居心地のよい空間 ○学習スペース、趣味、娯楽を楽しむフリースペース	○読書や学習 ○卓上ゲーム、囲碁・将棋
チャイルドルーム	○子どもが自由に遊び、保護者同士の交流を生む開放的な空間	○乳幼児の遊び場 ○子ども向けイベント
屋外広場	○市民ロビーや公園と一体となった憩い・イベント空間	○マルシェ
事務室	○案内窓口や受付カウンター ○執務空間のほか、職員の更衣・休憩スペース	○利用者案内 ○施設の維持管理
共用部	○認知症の人にもやさしいデザイン ○あらゆる方々に配慮したトイレ ○相当台数を確保した駐車場、駐輪場	
防災備蓄倉庫等	○食料や備品等を収納する防災備蓄倉庫 ○避難時にも温かい食事が提供できる簡易キッチン、生活用水確保のための貯水槽、マンホールトイレ等	○災害時の避難所

2 南地域交流センター（仮称）基本構想（案）について

（3）基本的な考え方

③施設全体の整備の視点

- ユニバーサルデザインの理念に基づくみんなにやさしい施設
- 快適なインターネット環境など利用者のニーズに対応した施設
- 花や緑があふれ、住民が身近に自然の潤いと安らぎを感じられる魅力的な施設
- ZEB化による省エネ性能の確保や木材利用など、環境負荷低減に配慮した施設
- 災害に対して十分な安全性を備え、地域の避難所としての役割を果たす施設

④運営の視点

- 時代のニーズに柔軟に対応し、民間事業者のノウハウによる魅力向上や効率的な管理運営
- 地域、大学、NPOなど、様々な主体の協力による多彩な事業の実施
- 他施設で実施している高齢者や子ども向けの事業等を本施設でも実施するなど、新たな出会いや賑わいの創出

2 南地域交流センター（仮称）基本構想（案）について

（4）今後の検討事項

- ①施設配置や各諸室等の具体化
- ②利便施設の導入
- ③公園、治水施設
- ④管理運営
- ⑤最適事業手法整備手法
- ⑥交通アクセス

（5）今後の進め方

- 今後、造成にかかる調査・検討、基本計画策定に向けた検討を行う。
（具体的なスケジュールは、造成にかかる調査・検討と併せて検討）

おわりに）民間提案等制度について

○制度概要

区分	民間発案 (PFI法に基づかない任意の発案)	民間提案 (PFI法第6条に基づく提案)
受付 対象事業	PPPロングリスト掲載の事業の他 福岡市政策推進プラン掲載の事業	PPPショートリスト掲載の事業
受付 提案内容	PPP事業化に向けたアイデアの提案 ※ 実施手法, 事業計画, 民間ノウハウ等	PFI事業の実施方針案の提案 ※ ただし, 実施方針が公表された事業は除く
募集開始	PPPロングリスト公表時より受付開始 受付期限はなし。随時受付 ※ PPPロングリストは毎年4月に公表	PPPショートリスト公表時より受付開始 受付期限は6月末まで ※ PPPショートリストは毎年4月に公表
提案受付 最終期限	PPPショートリスト掲載前まで	PFI事業の基本計画策定時公表まで

**発案・提案を検討している事業がありましたら、
まずはご相談ください。**

◎皆様からの**民間発案・提案**について受け付けています。

詳しくは下記URLからご確認ください



【市ホームページ】「民間提案等制度」

URL : http://www.city.fukuoka.lg.jp/zaisei/jigyo-suishin/ppp_pfi/index.html

※ ページ中段「民間提案等制度」からご確認ください。

【お問い合わせ先】

福岡市財政局アセットマネジメント推進部大規模施設調整課
〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8-1(本庁舎3階)
TEL:092-711-4804
FAX:092-733-5868
E-mail: daikibo.FB@city.fukuoka.lg.jp

福岡市PPPロングリスト・ショートリスト 事業紹介

END